

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 職員の統一したケアに向けて、理念に込めた思いや支援の具体化を非常勤職員を含め全職員で話し合い、質の向上に繋げることが望まれる	人員補充の至難性甚だしく、パート職員補充にて打開策見出そうとして以降、各々の勤務時間も勤務日もバラバラで理念の説明までには至ってなかった為、全員に説明をする時間を作る	まずは出勤が確実でないパート職員に頼らずとも充実した職員の人数を確保する事を継続して目標としていき、出勤時間も出勤日数も少ないパート職員の一人一人に説明を行う時間が取れる様計画・時間調整行う	3ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映 利用者・家族の重要な情報が全職員で共有できるよう、今後も検討を重ね、申し送り体制の確立に期待したい	パート職員の出勤時間がバラバラである事、出勤日が極端に少なく不在時の申し送りに時間を要する事、又出勤日・時間の問題をクリアしている職員はその理解能力が皆無で申し送り自体が無駄になる事等が現在徹底した申し送りができていない状況の理由として挙げられる 解消できる為の策を現場職員全員で模索していく	同上 更に、パート職員専用の申し送りノート等を作り簡単にでもできる様にしていく	3ヶ月
3	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング カンファレンスでは、職員の意見を中心に支援内容を振り返りを行っているが、介護計画の支援内容を職員が日々実践しているか互いに確認できるよう記録方法の検討を期待したい	記録についてはこれまでホーム独自で作上げてきた物に自負があり今後も続けていくつもりでいたが、毎日同じ内容である事で『意味がない』と指摘を受け、指導の不行き届きを省みて全職員に再度指導を行うと共に、簡素化する事で全職員が取り組める様に再度作り上げていく	無意味との指摘を受けたユニットには、直後に指導をすると共に全員でケアプランを組み込んだ個人日誌を新たに作り上げる事とした現在は改善を重ねている段階であり今後も試行錯誤を続けて完成させる予定である もう一つのユニットは10年の間大変な思いで受け継いできたので、今後は自らの業務を楽にする目的で改善に向けて話し合いを重ねていく予定である	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月